

佐倉市ボランティア連絡協議会 令和7年度活動報告

第1回運営委員会(総会)4月26日
志津コミュニティセンター



1部：R6活動・決算報告/R7予算案
2部：講演会
佐倉市社会福祉協議会事務局長
深沢孝志氏より「今求められるボラ
ンティア活動とは」と題して、福祉
教育や災害ボランティア活動など
のエピソードを交えながらお話を
いただきました。

個人ボランティアのつどい11月15日
佐倉市社会福祉センター



講演会では詐欺の手口と対策につ
いて学び、交流会では各活動に関
する情報交換を行い、課題解決へ向
けた前向きな議論が深まりました。
参加者一人ひとりが積極的に意見
を出し合い、より深い交流と建設
的な話し合いが展開され、時間が足
らないほど充実した会となりました。

佐倉市障害者作品展 12月11~14日
「ふれあいギャラリー」佐倉市立美術館



佐倉市主催
実行委員として参加協力(展示手伝い)
作者の皆さんが、日常で感じたこと
や日々の想いを力強く表現され、来
場者に感動と新たな視点を感じさ
せる作品が展示されました。
作品展を通じて障がいへの理解が
深まり、作者の創作意欲や生きがい
に繋がるよう、より多くの方にご覧
いただきたいと感じました。

バス研修会 7月10日
建設技術展示館(松戸)



快晴の中、建設技術展示館で作業車
の見学や体験、車椅子移乗や白杖歩
行を通して段差や点字ブロックを
体感し、バリアフリーの必要性を再
認識しました。災害時に活躍する作
業車への理解と感謝が深まり、昼食
ではゆったりした時間を過ごし交
流の輪も広がりました。

「市民活動発表 2025」11月30日
佐倉市中央公民館



市民公益活動サポートセンター主催
<テーマ>~伝える・広がる・私たち
の活動~に参加。多くの来場者が体
験ブースをめぐり賑わいました。
V連では、車椅子・白杖・ピクトグ
ラム体験ブースを実施し、参加者か
らは「体験することで気づくことが
ある」という声が寄せられました。

印旛地区ボランティア交流会 10月10日
「末廣農場」交流スペース(富里)



近隣V連6市町(成田/八街/富里/
栄/酒々井/佐倉)の交流会に参加。
テーマに沿って意見交換が行われ
「会員を増やすには?」という問い
に対し、ある団体からは「発想を変
え“楽しむこと”を中心に活動した
ら仲間が増えた」との報告がありま
した。楽しさこそ継続の力ですね!!

第2回運営委員会 12月7日
志津コミュニティセンター



今年前半の活動報告に続き、第2部
で「デジタル・リテラシー/スマホ
の安全な使い方」を受講。デジタル
技術を理解し、安全に活用する力を
身につけるとともに、スマホを正し
く使う大切さを学びました。ロック
未設定は個人情報流出の危険があ
るなど、気づきの多い内容でした。

第44回ボランティアのつどい



「つながろうボランティア!
世代をこえて未来へ!」

日時：2026年2月11日(水・祝)
10時~13時30分
会場：志津コミュニティセンター
内容

- ① ボランティア活動の発表
☆順天堂大学
☆県立佐倉西高等学校
☆臼井地区社会福祉協議会
コーディネーター：松山毅 先准教授
(順天堂大学 スポーツ健康科学部)
- ② グループトーク
昼食(チキンカレー)
- ③ みんなでからだを動かそう!!

編集後記

春の訪れが待ち遠しい季節。古今を問わず桜を慕う心は皆同じようで、遠い昔、西行法師が愛した
白く可憐な山桜は、900年の時を経て今もなお私達を見守り続けているようです。
この桜と共に、私達も、未来を生きる子ども達を明るく照らし見守り続けていきたいですね。



ボランティア情報紙

はらっぱ

第52号 2026年2月3日発行

編集・発行
佐倉市ボランティア連絡協議会(V連)
はらっぱ編集委員会
〒285-0013 佐倉市海隣寺町 87
佐倉市ボランティアセンター内
TEL 043-484-6198 FAX 043-486-2518



作画・大橋カズミ

「V連」って知っている?

佐倉市ボランティア連絡協議会(V連)は、佐倉市社会福祉協議会にボランティア登録している団体や個人の中で、V連の趣旨に賛同した
団体・個人ボランティアで運営する組織です。会員同士の横のつながりを大切に、様々な行事を通して交流や情報交換をしています。
1つの団体、一人のボランティアではできないことも、互いに連携することで新たな活動の幅を広げています。ぜひ一緒に活動しましょう。



V連ホームページ